

2024年4月16日

「鉄道物流の災害による輸送障害に対するBCP策定に向けた 官民一体の検討会」の概要について

標題について、当社では2022年10月に策定したKPIにおいて、災害時をはじめとする輸送障害への対策強化の課題に対する取り組みの一つとして、災害時輸送障害に係るBCP対策会議の新設を掲げておりました。この度、中国運輸局及び当社を共同事務局とし、2024年1月から3月にかけて広島県広島市において検討会を3回開催しました。その中で、山陽線新南陽駅を拠点とする輸送障害発生時のトラック・内航海運による代行輸送の強化、輸送障害の発生抑制・影響の低減、関係者の連携促進等の検討を行い、別紙のとおり概要をとりまとめましたのでお知らせします。

当社では、今後も関係者と連携しながらBCP策定に向けた官民一体の検討会を各地で開催し、輸送障害への対策を強化してまいります。

別紙 「鉄道物流の災害による輸送障害に対するBCP策定に向けた官民一体の検討会」の概要について

「鉄道物流の災害による輸送障害に対するBCP策定に向けた官民一体の検討会」の概要について

2024年3月

鉄道物流の災害による輸送障害に対するBCP策定に向けた官民一体の検討会の概要について

本検討会は、中国運輸局及び当社を共同事務局、国土交通省、中国地方整備局、山口県、周南市、JR西日本、利用運送事業者及び荷主を構成員※とし、鉄道物流の災害による輸送障害に対するBCP策定に向けた官民一体の検討の場として設置、輸送障害発生時のトラック・内航海運による代行輸送の強化、輸送障害の発生抑制・影響の低減、関係者の連携促進等詳細な検討を行った。

※鉄道物流の災害による輸送障害に対するBCP策定に向けた官民一体の検討会構成員（順不同）

荷主 : アサヒグループジャパン(株)、佐川急便(株)
利用運送事業者 : 日本通運(株)、全国通運(株)、日本フレートライナー(株)、
公益社団法人全国通運連盟、全国通運業連合会、
協同組合全国地区通運協会
国土交通省 : 鉄道局鉄道事業課
中国運輸局 : 海事振興部、交通政策部、鉄道部
中国地方整備局 : 港湾空港部、道路部
山口県 : 土木建築部道路整備課、土木建築部港湾課
周南市 : 建設部道路課
JR西日本 : 経営戦略部、施設部
JR貨物 : 貨物鉄道企画室、営業部、マーケティング戦略室、運輸部、経営企画部、
関西支社、広島支店

2024年1月12日に第1回を開催、以降、3月まで月1回ずつ(計3回)開催し、当社における災害による輸送障害への対応力強化に向けた取り組み事例及びJR西日本における降雨災害に対する取り組み事例を紹介、また、輸送障害発生時のトラック・内航海運による代行輸送の課題について議論を行った。

1. JR貨物における災害による輸送障害への対応力強化に向けた取り組み（一部掲載）

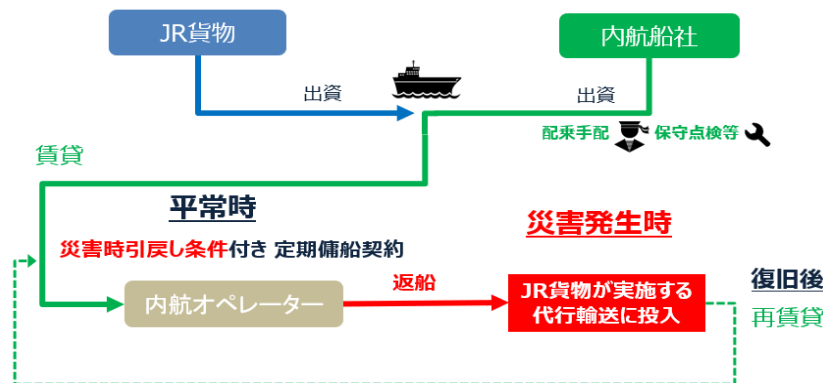
山陽線不通時を想定したBCP対策の推進

新南陽駅のトラック代行拠点駅としての機能強化



国土地理院地図（電子国土Web）加工して作成

災害による輸送障害発生時に供出することを目的とした499船の共同保有



499船共同保有のイメージ

2. JR西日本における自然災害に対する取り組み（JR西日本資料より一部掲載）

自治体等との連携（早期復旧）



糸崎駅構内での土砂流入事象について、河川上流部に土砂溜樹の設置を要請→自治体にて早急に施工いただいた

国土地理院地図（電子国土Web）加工により作成

斜面防災工事の推進



3. 速やかな代行体制の確立に向けた課題整理

コンテナ積載トラックの通行規制と災害による輸送障害発生時の課題整理

- 迅速な代行輸送開始のため、新南陽駅周辺の通行経路における高さ・重さ指定道路への指定
◎要望した道路について、高さ・重さ指定道路への指定に向けた調整が行われることを確認
- 3個積みセミトレーラー連結車の通行等について特殊車両通行許可手続きの迅速化
◎特殊車両通行許可交付について、国から迅速な対応を行っていくことを確認

2個積みトラック				
	車両規格	コンテナ積載個数	積車合計	
	高さ 約1.1~1.3m(荷台)	12ft × 2個 = 14t	高さ 2.5~ 2.7m	最大で 高さ 約4.0m 重さ 約25t
	重さ 約10トン	20ft × 1個 = 13.5t		
長さ 12m以内	31ft × 1個 = 最大約15t			
3個積みセミトレーラー連結車				
	車両規格	コンテナ積載個数	積車合計	
	高さ 約1.0~1.4m(荷台)	12ft × 3個 = 21t	高さ 2.5~ 2.7m	最大で 高さ 約4.0m 重さ 約35t
	重さ 約14トン(トラクタヘッド含む)	20ft × 1個 = 13.5t		
長さ 16.5m以内	31ft × 1個 = 20t			

高さ：3.8m超
 総重量：20t超
 長さ：12m超
 の場合、通行許可が必要

災害による輸送障害発生時の徳山下松港(晴海ふ頭)におけるバース使用・港湾荷役の承認

- 船舶による迅速な代行輸送開始のため、港湾荷役事業者を通じて港湾管理者に対して使用許可申請を提出することで港湾管理者からの速やかな承認を要望
◎港湾施設使用許可交付について、港湾管理者から迅速な対応を行っていくことを確認

・岸壁の使用方

- 仮置場の2箇所設置 (右図参照)
- 船から卸したコンテナの仮置場
- 船へ積載するコンテナの仮置場
- 最大80個のコンテナを一時留置
 (エプロンで夜間滞泊するコンテナなし)

・ドレージ案

- コンテナ2個積みトラック8台投入
- 新南陽駅起点、港での滞泊なし
- 渋滞等を回避するため等時隔での運行を計画

